

# すべての人の 可能性を



# 広げる

2023





## すべての人の可能性を広げる

可能性の基盤は生活です。持てる力を活用して生活を整えることは、こころと身体、社会とのつながりを整えます。子ども、障害のある人、高齢者、さまざまな困難を抱えた人、そして職員や地域の人々、すべての人の小さな声を大切にし、可能性を最大に広げることが私たちの使命です。日々の生活を整える実践から、30年後の社会を変えるアクションを生み出します。

# FIELD

## 実穂パークサイド

千葉県習志野市

### 超複合型の地域拠点

児童養護施設／一時保護所／子どもショートステイ／児童家庭支援センター／看護小規模多機能型居宅介護／認知症グループホーム



## 地域ケアよしかわ

埼玉県吉川市

### 団地×福祉で地域に密着

訪問介護・居宅介護／居宅介護支援・相談支援／みんなの食堂



## 杜の家やしお 埼玉県八潮市

### 個室ユニット型特養の先駆け

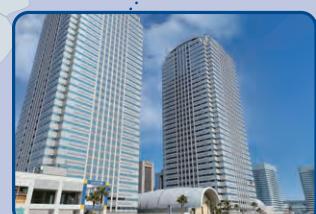
特別養護老人ホーム／ショートステイ／訪問介護・居宅介護／居宅介護支援・相談支援／企業主導型保育事業／配食サービス／学習支援事業／だれでも食堂

## 地域ケアそうか

埼玉県草加市

### なんでも相談×訪問介護

重層的支援体制整備事業における参加支援事業・地域づくり事業／訪問介護・居宅介護／居宅介護支援・相談支援／子育て世帯訪問支援事業／みんなの食堂



## 法人本部（コーポレート統括部）

千葉県千葉市

### 現場を支えるバックオフィス

# この地域を創る

首都圏に10の事業所があります。それぞれの地域で、  
地域に根ざした福祉を実践しています。



杜の家なりた 千葉県成田市

## 大規模多機能型福祉拠点

特別養護老人ホーム／共生型ショートステイ／共生型デイサービス・  
日中一時支援／訪問介護・居宅介護／居宅介護支援・相談支援／放  
課後等デイサービス／就労継続支援B型／企業主導型保育事業



香取 CCC 千葉県香取市

## 会いにいき伴走する相談機関

千葉県中核地域生活支援センター事業／  
千葉県生活困窮者自立相談支援事業／千  
葉県就労準備支援事業／千葉県家計改善  
支援事業／香取市生活困窮者等自立支援  
事業／居住支援事業／学習支援事業



杜の家くりもと 千葉県香取市

## 福祉楽団の原点

特別養護老人ホーム／共生型ショートステイ／認知症グループホーム  
／共生型デイサービス／訪問介護・居宅介護／居宅介護支援・相談支  
援／企業主導型保育事業／配食サービス／福祉有償運送／認知症カ  
フェ運営事業



栗源第一薪炭供給所

千葉県香取市

## 農林業×福祉の最前線

就労継続支援B型／認知症デイサービス



恋する豚研究所 千葉県香取市

## 農業×福祉×クリエイティビティ

就労継続支援A型／相談支援／生活困窮者認定就労訓練

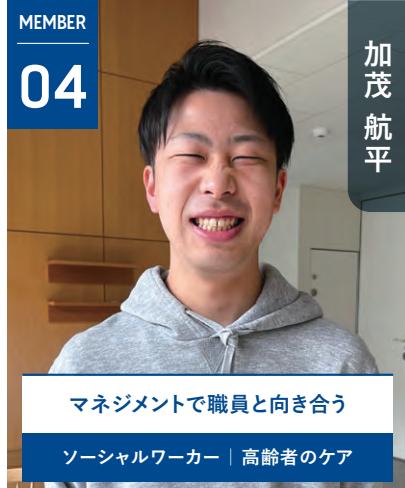
# TEAM

<p><b>MEMBER</b> <b>01</b></p>  <p><b>西澤 凌</b></p> <p>当たり前の暮らしを支え実現する ケアサービスワーカー   高齢者のケア</p>	<p><b>MEMBER</b> <b>02</b></p>  <p><b>上原 遥</b></p> <p>生きづらさを抱えた人と伴走する ソーシャルワーカー   なんでも相談支援</p>	<p><b>MEMBER</b> <b>03</b></p>  <p><b>田窪 理恵</b></p> <p>科学的根拠に基づき生活を整える ケアサービスワーカー   高齢者のケア</p>
<p><b>MEMBER</b> <b>07</b></p>  <p><b>石倉 順也</b></p> <p>農林業と福祉で地域を支える 農林業   農林福連携</p>	<p><b>MEMBER</b> <b>08</b></p>  <p><b>黒川 一</b></p> <p>持てる力でみんなを元気にする 農林業   農林福連携</p>	<p><b>MEMBER</b> <b>09</b></p>  <p><b>山崎 莉歩</b></p> <p>食の視点で生活を整える 管理栄養士   高齢者のケア</p>
<p><b>MEMBER</b> <b>13</b></p>  <p><b>山本 詩菜</b></p> <p>当事者や家族と向き合い伴走する 総合福祉職</p>	<p><b>MEMBER</b> <b>14</b></p>  <p><b>常木 一真</b></p> <p>豚を通じて価値や考え方を広める 営業職</p>	<p><b>MEMBER</b> <b>15</b></p>  <p><b>木村 友哉</b></p> <p>職員の成長と挑戦を全力で支える 企画開発</p>

# 全員一丸で挑む

いろんな人がチームを組んで仕事に取り組みます。  
500名以上いるメンバーの中からほんの一部をご紹介します。

MEMBER  
**04**



加茂 航平

マネジメントで職員と向き合う  
ソーシャルワーカー | 高齢者のケア

MEMBER  
**05**



藤堂 智典

超複合型の拠点で地域と共生する  
子ども支援

MEMBER  
**06**



平川 樹

子どもの最善の利益を追求する  
障害者支援 | 障害のある子どものケア

MEMBER  
**10**



仲宗根 和也

多職種連携でケアの質を高める  
看護師 | ケアチーム

MEMBER  
**11**



英りま

リハの視点で持てる力を引き出す  
理学療法士 | リハビリテーション

MEMBER  
**12**



片山 遥斗

二刀流で“くらし”を良くする  
理学療法士 | リハビリテーション

MEMBER  
**16**



飯田 大輔

すべての人の可能性を広げる  
理事長

# 01

NISHIZAWA Ryo



西澤 凌 [24]

社の家くりもと  
ユニットリーダー  
社会福祉士・精神保健福祉士  
介護職員初任者研修修了  
1999年 千葉県生まれ  
人間科学部卒業

新しいことを見たり聞いたりするとわくわくします！ そういう体験ができそうな場所に行くことが好きです。「社の家くりもと」は開放的で、明るい職場の雰囲気に魅力を感じています。



ゴルフで気分がリフレッシュ！

休みの日はゴルフをしています。今住んでいる場所の周囲にはゴルフ場がたくさんあるので、打っぱなしやコースに出かけています。最高スコアは69です！

## “当たり前”の暮らしを支え、実現する



入居者が「食べる？」とおやつをくださる。大切な時間です

「社の家」のユニットでは、入居者が中心の時間が流れています。入居者さんによって食事や排泄に行くタイミングや、それらにかかる時間が異なります。起きる時間や寝る時間もです。私たち職員が日々の“やること”に追われていると、こちらの都合でケアを行なうことがあります、それは違うと考えています。たとえば、入浴の時間にお声がけをして「今は行かない」とのことであれば時間や日を改めてご案内し、朝食の前に「まだ寝たい」とのことであれば、時間をずらして朝食を提供することもあります。私たち職員だって、日常生活では気分によって行動のタイミングが変わることもあります。「社の家」では、そのような“当たり前”を実現できるようにしています。でも、入居者さんの気持ちとそのときに必要なケアの間で、落としどころを見つけられないこともあります。そんな時は、声かけの方法やケアのアプローチについてチームのメンバーで考えながら工夫することで解決していきます。そのようにして生活を整えることが、ケアサービスワーカーの重要な役割の一つです。



### 楽しむ時間も大切に。余暇にはゴルフもします！

ゴルフの経験がある入居者さんとスナッグゴルフの道具を使って、一緒に体を動かしました！普段は車椅子からほとんど立ち上ることのないその入居者さんが、ゴルフクラブを持った瞬間に、ご自身で立ち上がってゴルフを楽しんでいたことが印象的でした。こういう楽しい時間を共有できる瞬間が、とても好きです。

月に一度はできるようにしていて、初めての人でも手軽に楽しめる

特にウイスキーの  
「知多」が大好きです！

好きなことは温泉やサウナに入ったり音楽を聞くこと。ハイボールが好きで、いろんなウイスキーを自分の好きな濃さに炭酸水で割って飲むことにハマっています。



### 上原 遥 [29]

地域ケアうか  
訪問介護ステーション  
ケアサービスワーカー  
介護福祉士・社会福祉士  
1995年 千葉県生まれ  
保健医療福祉学部卒業



埼玉県育ち。大学で社会福祉を学び、「人と人」や「人と制度」をつなぐ仕事をしたいと思うようになりました。モットーは「できない理由を考えるのではなくできる方法を考える」。

# 02

UEHARA Haruka

## 専門職として“アウトリーチ”的大切さを実感しています

「地域ケアうか」は、2022年に埼玉県草加市の「重層的支援体制整備事業」(重層)の一部を受託して開設した拠点です。重層は孤立しがちな人に社会とのつながりをつくり、相談者にあわせた場づくりなどを行います。私は相談員としてこの立ち上げにかかわりました。はじめは重層自体の認知度が低いので、その説明に奔走する日が続きました。重層のようなソーシャルワークは自分がやりたいことだったけど、動きかたに悩む時期もあって。でもそのうち、ひきこもりの子がいる家庭のケースや、母親が施設に入り一人暮らしになった障害の疑いのある高齢男性のケースなど、少しづつ支援が必要な人の情報が集まるようになってきました。

地域の人たちがふらっと立ち寄れる場所を目指している



食堂のボランティア体験で、煮込みハンバーグをつくる子どもたち

### みんなの食堂「おせんべ」も大切な取り組みです

「おせんべ」は世代や属性を問わずに、だれでも無料で食事ができる地域食堂です。毎週水曜日に子どもからお年寄りまで約60人がごはんを食べにきます。家庭に居場所がない重層の相談者さんを運営ボランティアに誘ったところ、参加し続けることで自信がつき、家庭の外に居場所ができるなど、自立の一助になったケースもあります。

### 産休・育休を経て、職場に復帰しました！

働きはじめて1年がたったころ、産休に入りました。子どもの話がきっかけで関係ができた人たちもいたので、複雑な心境でした。子育ては毎日が必死でとにかく大変。でもやっぱり子どもの成長は嬉しいし、疲れが吹き飛びますね。子育ても重層の支援も、“正解がない”という点では一緒だなと思いました。今は時短で、仕事と育児を両立しています！



育休から明けて、職員も利用者さんも温かく迎えてくれて安心しました

# 03

TAKUBO Rie



田窪 理恵 [23]

杜の家やしお  
ケアサービスワーカー  
社会福祉士・  
介護職員初任者研修修了  
2001年 千葉県生まれ  
人間科学部卒業

入職と同時に始めた一人暮らし。YouTubeを観ながらご飯を作るのが日課です。仕事のご褒美は、勤務後にフツク(フットワークの軽い)同期とご飯や銭湯にいくこと!

お菓子がたくさん  
つくれます!

料理づくりにハマってます!  
1年間がんばった自分への  
ご褒美に、オープンレンジ  
を購入。休日にパンや  
シュークリームをつくってい  
ます。クリームを入れ放題  
なのが幸せです(笑)



## 「科学的な根拠に基づくケア」を大切にしています

私たちは科学的な根拠に基づくケアを通じて、入居者さんの生活を整えることを目指しています。介護というと、生活に密着して手足の代行と捉えられがちですが、私たちは入居者さんの「持てる力を最大に活かす」ようにケアを実践しています。そのためには、科学的な視点が不可欠です。新入職員研修では「人体の構造と機能」を理解するための講義が充実していて、生活の場面で人間の体はどのように作用しているのか、そのときのケアはどうするのが適切か、ということを体系的に学びます。また「ケアコラボ」という介護記録システムでは、入居者さんの身体情報や食事量など、あらゆる情報をデータで蓄積しています。

さやえんどうの筋とりがお上手なみなさん。  
QOLの向上にもつながっている



おしぶりを畳むなど、暮らしのなかでできることはやっていただけます

## チーム全員で「ケアのものさし」を使います

「自分たちのケアが良いケアであったかどうか」は、「ケアのものさし」という5つの基準で評価しています。チームの全員がこの基準で議論をすることで、継続的なケアの改善ができます。主観的で情緒的なケアではなく、このような科学的なケアは、入居者さんの生活が豊かになることに直結していると日々感じています、とても面白いです。

## リハビリ広場で生活の質が向上!

「杜の家やしお」には「リハビリ広場」という場所があり、入居者さんたちが開催日カレンダーを確認して集まります。道具でトレーニングしたり、脳トレしたり、おしゃべりを楽しんだり。職員が見守るなか自由に過ごします。応援し合うことで元気が出たり、日常のちょっとしたことを手伝ってくれるようになるなど、この場所が生活の質の向上になっています。



他の階の入居者も「リハビリ広場」  
を目指しエレベーターで自由に集まる



## 04

KAMO Kohei



加茂 航平 [25]

杜の家なりた  
生活支援課 課長  
介護福祉士・社会福祉士  
1999年 埼玉県生まれ  
人間福祉学部卒業

埼玉県出身、千葉県在住。「福祉を変える」という力強い理念に背中を押されている気がして、自然と福祉楽団への入職を決めました。



シーズン中に  
一度は観戦に  
行きます！

「調う（ととのう）」を求めてサウナに通ってます。プロ野球やJリーグを観に行くのも好きです。好きなアーティストはMr.Childrenで、よく「何歳？」と聞かれます（笑）。通勤時やドライブのお供です。

## 「成長したい」と思える環境づくりに奮闘中！

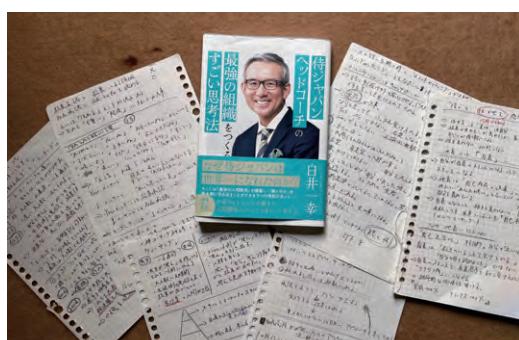


今は「杜の家なりた」の施設部の課長として、現場のケアを行いつつ、施設部全体のマネジメントをしています。ぼくが大切にしていることは、「人とのかかわり」に着目し、職員一人ひとりとどう向き合うかを考えることです。その人の強みをその人自身で気づけるように促し、それを今後のキャリアや成長に活かせるようにかかわることを目指しています。でも、まだまだ駆け出しの見習いマネジメント職です（笑）。人生の先輩もたくさんいるので、自分自身の知識不足や経験不足をダイレクトに感じることも多くなりました。でも、そんな自分から逃げずに現状を見つめ直すことで、成長して自分の新たな強みも見えてくると信じ、日々奮闘しています！

業務の申し送りでは、事實を正確に、わかりやすく  
伝えることを心がけている

## きっかけは「侍ジャパン」のヘッドコーチの研修

ぼくがマネジメントに興味を持ったのは、入職2年目に受講させてもらった「コーチング研修」です。講師はWBC「侍ジャパン」のヘッドコーチを務めチームを世界一に導いた白井一幸さん。コーチング技術を使ったマネジメントを学んだことがきっかけです。人とのかかわり方一つで相手が前向きになるだけではなく、「チーム力」が向上することを学びました。



今の自分があるのは、この「コーチング研修」のおかげ



能登半島地震における石川県輪島市の福祉避難所等の支援にも参加

## 成長のチャンスがたくさん！ やったもん勝ちです（笑）

福祉楽団は研修が充実していますが、それだけではなく、他法人への視察や災害派遣、法人全体で毎年開催している「ガクダンアワード」のプロジェクトメンバーなど、多種多様な経験もさせてもらっています。「成長したい」と思えるような環境があるからこそ、今の自分がいる。今度は自分が他者にそれをつくれるマネジメント職になりたいです！

05

TODO Tomonori



香取神宮は「決意を固める場所」として有名

神様・仏様の力も借りながらプロジェクトを成功させたいと、御朱印集めを時々しています。先日、香取神宮で後ろを振り返つたら、キャリア採用の2人とバッタリ遭遇。こんなこともありますですね～。

藤堂 智典 [49]

実幼パークサイド  
ソーシャルワーカー  
社会福祉士・公認心理師・  
相談支援専門員  
1976年 群馬県生まれ  
政治経済学部卒業



児童相談所に長く保護されている子どもの多さから、「児童養護施設をつくってください!」と福祉楽団に飛び込んだら、「あなたがやってください!」となった、嘘みたいな転職の話です。

## “福祉”を越えていく新しい拠点「実幼パークサイド」

「実幼パークサイド」は児童養護施設を中心とした、超複合型の地域拠点です。子どもを一時的に保護するための一時保護所や、障害のある人の就労支援、高齢者や医療的ケアを必要とする人へのサービスもあります。ここはもはや“福祉”という枠を越えた、“くらし”的な場であり、国内的に稀有な取り組みです。多世代で多様な人が入り交じり、困りごとを抱えている人もそれほどでもない人も、共に育ち合っていくことを大切にしています。そのために、敷地を隔てる柵もフェンスも設けず、地域を開くことにしています。どんなことがあってもその人の味方であり続け、一人でいたいことも、誰かとつながっていきたいことも保障されるような「家庭的」で「当たり前」の生活を目指していきます。

児童養護施設は家のような造りで6棟あり、  
1棟につき6名が生活できる



アンバサダーの山本昌子さん (ACHAプロジェクト代表) とサイボウズ社に訪問

### 当事者と協働しています

このプロジェクトにはアンバサダーとして、社会的養護の経験者に参画してもらっています。職員に向けた研修の講師や、企業などへの寄附金集めに力を発揮してくれています。「子どもへの信頼の眼差しに満ちた、素敵な『家』になることを信じています」と、嬉しい応援に励まされながら、私たちの取り組みと一緒に社会に発信し続けています。

### 地域と共に歩んでいきます

地域の人たちは、「実幼パークサイド」をどのように楽しい場にできるかを考えるワークショップを開催したり、田植えやお祭りへの参加、地元に根差したアメフトの試合観戦など、さまざまなイベントにご一緒させていただいている。「お互いさま」の街づくりと一緒に進めることができることに、感謝でいっぱいです。



地域における「実幼パークサイド」のあり方を考えるイベントを開催し15名が参加

# 06

HIRAKAWA Tatsuki



## 平川 樹 [24]

杜の家なりた  
子どもチーム リーダー  
社会福祉士・  
介護職員初任者研修修了  
2000年 千葉県生まれ  
人間学群卒業

大学では主に障害分野を中心に学びました。2023年に入職し、障害のある子どもたちの支援をしています。今は「保育士」の取得を目指して勉強中。好きな食べ物はコロッケです。



部屋には200冊くらいの  
本や漫画があります！

本や漫画が好きでヒマがあれば読んでいます。衝撃的だったのは『アルジャーノンに花束を』というSF小説です。漫画は、笑えて人情話もある『銀魂』が好きですね。

## 障害のある子もない子も、高齢者も一緒に

「杜の家なりた」の子どもチームで、放課後等デイサービス（放デイ）と事業所内保育所（保育所）の、リーダーを担当しています。放デイには小学1年生から高校3年生までの障害のある子どもたちが通い、保育所には職員の子どものほか、地域の子どもが通っています。子どもたちは日中、同じ施設にある高齢者デイサービスや特別養護老人ホームに行って、おじいさんやおばあさんと遊んだり、放デイと保育所の子どもたち同士で走り回ったりしてはしゃいでいます。追いかけるのも大変です（笑）。高齢の利用者さんが子どもを膝の上で抱っこしているのを見ると、家庭でのワンシーンのようで、とてもほっこりします。



子どもが膝の上に乗るとデイサービスの利用者さんにも笑顔がこぼれる



おやつの時間にカメラに向かってピース

## 観察力を大切に、 見えない気持ちに寄り添う

「困った人」は実は「困っている人」かもしれない——そんな言葉にハッとさせられました。福祉とは関係のない漫画のワンシーンでしたが、私の仕事にも通じる考え方です。施設での様子がその人のすべてではなく、家庭での姿との違いに驚くこともあります。大切なのは、本人の気持ちに寄り添うこと。思い込みや押しつけにならないよう心がけています。

## 子どもたちに負けないように、ぼくも成長します！

名前を覚えてもらい、「平川さん！」と声をかけられて一緒に遊ぶ時間が嬉しいです。鬼ごっこやサッカー、トランポなど。子どもたちに負けまいとぼくも真剣に向き合います（笑）。そうすれば絆も深まります。今後の目標は保育士の資格を取ること。放デイと保育所の両方をきちんとマネジメントできるリーダーを目指したいです。

「杜の家」には保育所が併設しているので高齢者との交流は日常





## 07

ISHIKURA Takuya



石倉 卓也 [35]

栗源事業部 農林事業課  
介護職員初任者研修修了・  
さつまいもアンバサダー・  
土づくりアドバイザー  
1989年 東京都生まれ  
農学部卒業

食べることが好きで、日本の食文化を豊かにしたいと思い農学部を卒業しました。「飯が良ければ全て良し」をモットーに、日常の食生活が楽しくなるような支援を目指しています。



冬至に利用者さんと  
柚子シロップづくり  
をしました

美味しいものを求めるだけでなく、食べ物の裏側にある文化を感じたり、ちょっとした調理の工夫で食卓を彩ったりすることが好き。そういう“遊び”で人生は豊かになると思います。

## 農業と林業で、人も地域もケアする



障害のある人たちと一緒に「ポテカルゴ」に乗ってサツマイモを収穫する

地域資源を活用して、  
土づくりにこだわっています

「恋する豚研究所」の堆肥や地元の米ぬか、マヨネーズ工場の卵の殻などの地域資源を活用して、土にこだわり、サツマイモを栽培しています。毎年土壤を分析し、必要な資材を適切に投入することで、化学肥料の使用を大幅に抑えています。現在では、ほとんどの畑で化学肥料を使わずに地元の有機資源のみで栽培しています。

## 「農業×デイサービス」で三方良し

介護が必要でも軽い農作業ができる人の力を発揮する場として、農業生産を行う「高齢者デイサービス」を運営しています。介護されるだけでなく、人のために何かを生産することで利用者さんのやりがいにつながると考えています。私は農業の専門職として、介護職員と利用者さんと共に小規模無農薬栽培を始めています。

農業をされていた利用者さんに作業の手順を教えてもらうこともある

大学で農学部だった私は“農業”や“地域”的視点で就職先を探していく、「日本の農業を良くするには、地域を住みよい場所にしていくことが大切だ」と考えるようになりました。そんななか、人だけでなく地域へのケアも大切にする福祉団体の考え方方に共感し、入職しました。はじめは地域の人たちに教わりながら、サツマイモ栽培や森林整備をしました。少しづつ、香取市栗源地区の若手農家として馴染めてきたような気がします。今では空き農地の相談が来るようになったり、伐木を頼まれるようになりました。地元の人たちからすればまだ新参者ですが、これからも栗源のサツマイモの美味しさや、森の楽しさを広めていきながら、30年後の地域をつくりていきたいと思っています。



「栗源第一薪炭供給所」では「農林業×福祉」で地域づくりをしている



08

ROBAO



ガチャガチャで  
買えるよ!

デイリーメイト（濃厚飼料）  
が好き。おいしいけど食  
べ過ぎると太っちゃうの  
で、1日200gに制限して  
います。「恋する豚研究所」  
で売っているので、買って  
くれるうれしいです。

ロバオ [7]

(人間換算年齢 約21歳)

栗源事業部 農林事業課

2017年 福島県生まれ

那須高原南ヶ丘牧場卒業



千葉県に来て約1年。日中はいろんなところにいます。ぼく  
は真後ろが見えないから、急に後ろに来られるとびっくりし  
ちゃうので、前から声をかけてもらえると安心します。

## ロバだけど、ちゃんと福祉楽団の職員です



ぼくは那須高原の南ヶ丘牧場で生まれました。父はミニロバで母はアジアノロバ。父に似て体は小さいけど、力は強いです。小さい頃から牧場ではたらいて、お客様と触れ合うことが多かったので、おとなしいけど人懐っこいほうだと思います。福祉楽団には2024年6月に入職しました。「ロバを飼おう」という話があったみたいで、いわゆるヘッドハンティングです。福祉楽団の人たちが会いに来てくれて、ぼくを含めて3頭の仲間のなかから、ぼくを選んでくれました。採用の理由は「いちばんイケメンだったから」だそうです(笑)。配属は農林事業課。「恋する豚研究所」の敷地内です。草を食べている時間が多いけど、ほかのお仕事もちゃんとやらなきゃと思っています。

5名の職員と25名の利用者さんで仕事をしています

### できることを増やしていきたいな

ぼくのお仕事は除草作業（雑草を食べる）です。「恋する豚研究所」に来てくれたお客様と遊ぶことも仕事のひとつで、土日は大忙し。これからは、子どもを背中に乗せたり、荷物を運んだりできるようになりたいな。職員や利用者さんと一緒にやっている地域のゴミ拾いの「ゴミ」や、畑の農機具などを運べるようになれば、きっとみんなも喜んでくれるはず。



地域のゴミ拾いは隔週月曜日に職員と利用者と一緒にに行います



さまざまなところにいるが位置情報で居場所がわかるようになっている

来てくれた人が、  
ちょっとでも笑顔になってくれたらうれしい

寂しいときや遊んでほしいときは、鳴いて人呼びます。でも、よく「鳴き声がかわいくない」と言われてしまいます(涙)。みんなはどう思うか、こんど聞いてみてほしいです。ぼくは7歳だけど、人間より早く歳をとるので人間換算年齢は約21歳。これを読んでくれているみんなと同い年くらいかな。「恋する豚研究所」に来たときは声をかけてね。

# 09

YAMAZAKI Rihō



山崎 莉歩 [24]

杜の家やしお  
ケアサービスワーカー 兼  
食事サービス課 管理栄養士・  
介護職員初任者研修修了  
2000年 東京都生まれ  
応用生物科学部卒業

福島で生まれ、3歳から東京で育ちました。今は埼玉で一人暮  
らしをしています。和食が好きで、施設のご飯の“赤魚の煮付  
け”が特に好きです。その日の仕事はとても頑張れます(笑)



肌の色が「健康的だね」  
とよく言われます!

ラクロスというスポーツを  
大学1年生からやってい  
て、2024年から社会人  
チームに所属しています。  
仕事後などにプロジェクト  
で映画を観てゆっくり  
することが最高に好きな  
時間です。

## “食”を知ることから、“くらし”を良くします



食事のときのみなさんの笑顔が、日々のやる気につながっている

生活を整え、“くらし”を良くするには、その人を知ることから始まります。私は、“食”がそのきっかけの一つだと考えています。ある利用者さんが、「私の家は、『料理が美味しい』って、たくさんの人が集まる家だったのよ。知り合いのお葬式の時は、天ぷらを100人分作ったりもしたわ」と嬉しそうに話されました。この会話から人となりを少し知ることができます。“食”をきっかけに、入居者さんの過去や今の心情を知ることができるのです。言葉に出さなくて、表情や食べる速度で「これは好きなのかな」と気づくこともあります。それをチームで共有し、その人を知っていくことがまた良いケアにつながっていると感じています。

### できることは何でも手伝ってもらいます

“食”といつても、食べる以外にもさまざまな動作が含まれます。日々の生活で、玉ねぎの皮むきやお皿洗いなどを利用者さんに手伝ってもらいます。ある入居者さんに「ジュースを2つ目の目盛りまで入れてもらえますか?」とお願いしたら手伝ってくれました。この動作からも、その人の認知能力や上肢の自由などの“持てる力”を知ることができます。



包丁の使い方など、家事は私たちが勉強になることもたくさん



職種を兼務することで新たな気づきもあり、ケアの視点が広がる

### ケアサービスワーカーと管理栄養士の法人内ダブルワーク

私は食べることも料理をすることも好きです。大学では栄養について学んだので、せっかくなら“食”からも入居者さんの生活をより良いものになるようにしたいと思い、管理栄養士も兼務させてもらうことになりました。私自身「まだまだやれることがある」と感じています。もっと入居者さんを知り、楽しみながら日々のケアに励んでいきたいです。





相棒の“ロイ”は食欲  
がとっても旺盛です

相棒（犬）との生活が始まり、散歩が趣味になりました！駅への近道を見つけたり近所の夕飯の匂いに癒やされたり、車では気づけなかった日々の発見がとても楽しいです。

### 仲宗根 和也 [30]

実務パークサイド  
看護小規模多機能型居宅介護  
管理者  
看護師・保健師・介護支援専門員  
1994年 沖縄県生まれ  
看護学部卒業



総合病院で2年働き、福祉楽団に入職。暮らしの中でケアを考え実践するのは、病院とは違ったスキルだと実感しています。家族ができ、暮らしを整えることの大切さに気づきました！

# 10

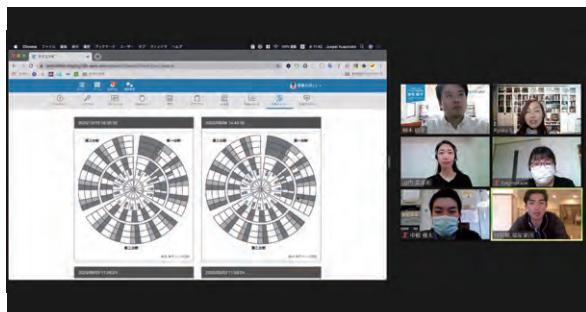
NAKASONE Kazuya

## 多職種連携をしてケアの質を向上させる

福祉楽団では介護職、看護職、リハビリ職、管理栄養士など、さまざまなプロフェッショナルがはたらいています。各専門職が持つ視点や知識が異なるため、「暮らし」の現場で必要なケアとは何かをそれぞれの視点で日々検討しています。食事の場面では、どうしても安全に提供することが重視されがちですが、生活の視点では、美味しいことや楽しいことも大切だと気付かされます。いろんな価値観がある暮らしの場は、安全と楽しさのバランスを考えないといけません。実際に100歳を超える方でも、創意工夫を重ねることで、好きな芋を最期まで食形態を変えずに提供できました。なかなか正解のないことだらけですが、職種の垣根を超えて意見交換ができるることは福祉楽団の強みだと思います。



ケアカンファレンスは月1回開催し、ひとりにつき1時間に及ぶこと



福祉楽団のケアに対する考え方で独自開発したケア記録ソフト

### ケアの現場の“見える化”をアップデート

私たちが使う「ケアコラボ」は、生活環境や身体機能など、日々のケアの過程やその結果が“見える化”できる介護記録システムです。ケアの質の向上のため、定期的にケアコラボ社のメンバーと協議して機能の開発や改善に努めています。目に見えないアップデートもありますが、現場が良くなるきっかけにつながった時は、本当にうれしいです。

### これまでとこれからのケアを考える

2025年春に習志野市の実務地区で、児童養護施設を中心とした複合型福祉拠点を開設しました。私は福祉楽団の各拠点でさまざまなケアを積み重ねてきましたが、その地域や住まう人々の暮らしによって、ケアのかたちを変えてきました。実務でもまずは地域を知ることからはじめ、そこで必要とされるケアを考え、実践していきたいと思います。



共に経験してきたメンバーと議論を重ね、ケアを実践していく





神社の由緒を知るの  
がとても面白い！

寝る前のルーティーンは窓際で夜風にあたりながら本を読むこと。気分転換したいときは神社に行きます。パワーをもらえる気がして……（笑）。イチオシは長野県にある戸隠神社です。

### 英りま [25]

社の家やしお  
生活支援課 課長  
理学療法士・介護福祉士  
1999年 北海道生まれ  
リハビリテーション科学部卒業



生まれ育った北海道から埼玉県に来て、あっという間に入職4年目です。猫とのんびり2人暮らし。2024年には介護福祉士の資格を取得しました。次は何を勉強しようか考え中です。

11

HANABUSA Rima

## リハビリテーションの視点でケアの質を高める

福祉楽団には9名のリハビリテーション職（リハ職）がいます。「リハビリ」と聞くと病院で行うものを想像する人が多いと思いますが、「自分でご飯を食べる」や「トイレでズボンを下ろす」など、普段の生活で何気なく行っていることも、福祉の現場では「リハビリ」と捉えています。“日々の暮らしのなかでリハビリになることは何か”をチームで考え、コツコツ継続することで、寝たきりの状態で入居された人がトイレに行けるようになったケースもあります。できなかつたことが、できるようになる。入居者さんの「持てる力」に、リハ職だけでなく多職種で注目し、それを最大限に引き出すケアを実践しています。

リハビリで身体機能が改善されると、心の元気を取り戻すことにもつながる

### 職種を超えた「ケアサービスワーカー」

福祉楽団ではリハ職、介護職、看護師、保育士などの職種も「ケアサービスワーカー」と呼んでいます。視点が異なるだけで「ケアを考え “ぐらし”を良くする」というミッションは共通しているからです。今後は、これまで以上に拠点間で情報交換を行い、横のつながりを強め、それぞれの取り組みの良さや改善点を取り入れていきたいです！



ケアの好事例を法人全体で共有する「ガクダンアワード」も多職種がノミネートされる



### マルチプレイヤーでいろいろ挑戦しています！

ケアサービスワーカーはケアの実践のほか、さまざまなプロジェクトへの参画など、やる気さえあれば多くの経験を積むことができます。私自身は、各拠点の好事例を共有して表彰する「ガクダンアワード」の企画や職員研修の企画、新卒採用のイベントなどに携わりました。常に挑戦をしている法人だからこそ、職員の挑戦も応援してくれる環境が整っています。

自分たちで考えた2年目研修の  
プログラム。当日の運営も携わる



12

KATAYAMA Haruto



片山 遥斗 [23]

杜の家なりた  
リハビリテーション職  
理学療法士・  
介護職員初任者研修修了  
2001年 北海道生まれ  
リハビリテーション科学部卒業

広い大地のド田舎よりやって参りました。福祉楽団なら「リハ職」として、人の暮らしを良くするためにのびのび働くことができそうと思い入職。ロックバンドが大好き。

北海道石狩市にある  
厚田の海辺は  
最高です！

休日はドライブ。少し遠出  
をすることが僕のルーティ  
ンです。北海道の大自然  
で育ったためか、海や山  
などの自然に触れに行く  
ことで心も体もリフレッ  
シュできます！



## 介護職と理学療法士の二刀流を目指す



学生時代は「地域の人のちょっとしたお困りごと」を解決するボランティアサークルに所属し、部屋の模様替えや雪かきなどの手伝いをしました。理学療法士の資格取得のために行った実習先の病院では、リハビリといつても単に「痛み」や「症状」にのみ着目されることが多く違和感があつたことを覚えています。それらを経て、その人の持てる力を引き出し「生活を豊かにするためのリハビリがしたい」という想いが今の職場につながっています。現在は、リハビリだけにこだわらず幅広くその人を支援していくたいという想いから、介護職とリハビリテーション職を兼務しています。今後も仲間とともに学び続け、介護もリハビリもできる「福祉業界の大谷翔平」を目指します！

ぼくと他の入居者さんに毎日お茶を淹れてくれるの、雑談しながら見守る

### 小さなことが「生活を豊かにする」につながる

先日、ある入居者さんがいつもより活気がなく、水分摂取も進んでいませんでした。姿勢が崩れることに気づき、U字クッションを使って姿勢を整えたところ、ご自分で水分を飲み始めてくれました。これはほんの小さなことですが、持てる力を最大に活かし「生活を豊かにする」とは、こういった実践の繰り返しが思っています。



姿勢が整うと笑顔もこぼれます。この瞬間がやりがいになっている



研修でのグループワークの様子。同期のつながりは大切です

### 新入職員研修を経て、心持ちと考え方がアップデート！

入職1年目ということもあって、新しいことやいろいろな考え方、先輩や入居者さんから吸収する毎日です。新入職員研修で学んだことを活かせているかは不安ですが、少しづつ業務にも慣れてきて「ケアのものさし」を意識できるようになってきました。心持ちや考え方は入職当初よりはアップデートできていると感じています！



YAMAHAのエレアコ  
を愛用しています

アコギが趣味です。休日は近所の公園の草むらでこっそり、思いっきり弾き語りをしています(笑)。たまに興味を持って話しかけてくれる人がいて、おしゃべりするのが楽しいです。

### 山本 詩菜 [27]

社の家なりた  
生活支援課 生活相談員  
社会福祉士・介護福祉士  
1998年 岡山県生まれ  
理学部卒業



学生時代にボランティア事業でインドネシアに7か月間滞在。帰国後「生きづらさの形を変えられる人になりたい」と思うなか、福祉楽団の在り方に魅せられ入職を決意しました。

# 13

YAMAMOTO Shina

## 生活相談員の仕事は幅が広い! 多職種との連携が大切

「社の家なりた」の生活相談員をしています。仕事内容は、施設への入居相談を受けることや入居者さんの入退院の調整、施設の専門職や外部の機関と連携して入居者さんの生活を支えることです。施設の窓口となりさまざまな調整役を担います。



ケアや事務のスキルのほか経営の視点など総合的な能力が必要



ケアサービスワーカーの知識や経験が、今の業務に活きている

### ご家族とも一緒にケアを考えます

施設における重要な相談援助の一つに、「ターミナルケア面談」があります。これは、終末期が近い入居者さんに、お看取りまでの時間をどう過ごしていただくかを話し合うものです。ご家族や介護職員、看護師、医師、生活相談員など、入居者さんにかかわる人や専門職が参加します。面談では最近の様子や食事量・体重の変化など身体の状態を共有したうえで、今後もし「食事を摂れなくなったら?」「呼吸が浅くなったら?」など、状態が変化した時の対応についてご家族の考えをうかがいます。日々の生活での希望もうかがいます。たとえば「好きなものを味わってもらいたい」「体調が良い時はお風呂に入りたい」など。ご本人にとって“最善の過ごし方”を実現するためには、実践者である私たちだけでなく、ご家族と一緒にケアを考えることが大切です。



### 職種にかかわらずさまざまなプロジェクトを経験しています!

私は生活相談員としての業務だけでなく、いくつかのプロジェクトにも携わらせていただいています。たとえば、入職2年目の職員に向けた研修の企画や当日の運営をはじめ、実は、この採用ブックのプロジェクトにもかかわっています(笑)。職種の枠を超えて幅広い経験ができるることはとてもワクワクしますし、自分自身の成長につながります!

研修効果を高めるためにキャンプ場で研修をプログラムした

14

TSUNEKI Kazuma



## 常木 一真 [25]

恋する豚研究所  
営業部 営業課  
1999年 千葉県生まれ  
法律行政科卒業

以前の勤務先は高級ホテル。祖母が「社の家なりた」に入居していて、「恋する豚研究所」も同じ福祉団体と知って食事をしました。豚の味に感動したことが転職のきっかけです。



富山県の黒部峡谷にある人喰岩は圧巻!

旅行が好きです。観光地を巡るというよりは、マイナーなところに行くのが好きです。その場所に住んだらどんな生活をするのかを想像するとワクワクします。

## 「恋する豚」をたくさんの人々に知ってもらいたい!

「恋する豚」は千葉県のブランド豚で、香取郡東庄町にある1つの農場のみで生産しています。すこやかに育つ環境や独自開発した発酵飼料などを与え、徹底的にこだわって育てた豚です。私は営業を担当しています。初めて「恋する豚」を食べたときの感動が忘れられず、それを多くの人に感じてもらいたいという想いです。BtoBでは直接スーパーなどに飛び込み営業に行くこともあります、大きな商談会に出展することもあります。BtoCでは、お取り扱いいただいている店舗に足を運び、週に1~2回、試食販売を行います。「恋する豚」の特徴や私たちの取り組みをお客さまに直接伝えられるし、たくさんの人に美味しさを共感していただけるのが嬉しく、やりがいがあります。

試食販売では、お客様に自信をもっておすすめできるのが嬉しい



昔ながらの製法でじっくり熟成させると深い味わいが生まれます

## ほんとうに美味しいものをつくっています

ハムやベーコン、ソーセージの製法にもこだわっています。お肉の味に自信があるので、余計な混ぜ物はせず、本来の味を大切にしています。私たちは、自分たちが「食べたい」と素直に思えるもの、そしてスーパーに並んでいるときに手に取りたくなるような商品をつくっています。私自身が一番の「恋する豚研究所」のファンかも知れません(笑)



## 時には農場にも行きます

私たちの取り組みに共感してくださいました飲食店や小売店のバイヤーの方々を農場にご案内することもあります。見学ができる農場が少ないなか、うちでは消毒や防護服の着用などの感染症対策を徹底したうえでご覧いただきます。農場の清潔感や発酵飼料をつくる設備などを見て、「ここまで追究しているんですね」と驚きの声をいただきます。

安全でおいしい豚を育てるために、  
科学的な視点は欠かせない



忍者村ではたらいで  
いました！



映画や寺院を観にいくことが好きです。忍者役者をやっていったこともあり、時代劇やお侍さんが出てくる映画は大好きです！たまに、自分自身も出演する側になったりもします（笑）

### 木村 友哉 [26]

コーポレート統括部  
採用・育成課  
介護職員実務者研修修了  
1998年 千葉県生まれ  
人間共生学部卒業



# 15

KIMURA Tomoya

大学卒業後、新卒で山梨県の忍者村に就職。忍者役者として舞台で活躍するも、コロナ禍を機に福祉楽団へ転職。無資格未経験から介護に従事し、現在は新卒採用を担当しています。

## 職員をケアし、成長と挑戦を支えます



私はコーポレート統括部（法人本部）の人事部で、主に「採用」と「育成」を担当しています。福祉楽団の魅力や、“福祉”そのものの楽しさを求職者に伝える「採用」はもちろん大切ですが、私は入職後の「育成」のほうがより大切だと考えています。育成といってもさまざままで、研修を企画・運営し、学びの場がより良くなることで成長が促進されるようにサポートします。海外研修やキャンプ研修など面白い研修が多いのが特徴です。育成には職員のケアも欠かせません。私たちは学生に“現場のリアル”を伝えるため、各拠点に頻繁に足を運びます。たくさんの職員と顔を合わせるので、職員のちょっとした変化などに気づくことができます。職員をケアすること、職員の成長と挑戦を支えることが、私たちの仕事です。

参加者が前向きになるようなコミュニケーションやミーティングを心がけています

### 採用も大切ですが、そのあとの育成がより大切

入職後すぐに始まるのが「新入職員研修」で、私は事務局を担当します。期間は4月から約半年で、ケアの知識と技術を現場の実践を交えながら学びます。ケアの質を高める人材を育成することが目的ですが、同期で集まれる良い機会でもあります。職員の学びが深まるようにサポートしたり、仕事での喜びや悩みに寄り添うことも役割のひとつです。



新入職員研修が修了すると全員が初任者研修の資格が取得できる



福祉のおもしろさを体感してもらえるようにプログラムを工夫しています

### ケアの魅力を伝えることが、自分の成長にもなっています！

福祉を学んでいる人にも学んでいない人にも、ケアの魅力を伝えられることに喜びを感じます。採用選考に参加してくれている学生から「木村さんと一緒に働きたいです！」と言われたときは、「やっていてよかった～」と思える瞬間です。自分の学んできたことを発信することでさらに知識が深まり、自分自身の成長にもつながっています！

## 16

IIDA Daisuke



## 飯田 大輔 [47]

福祉楽団 理事長  
介護福祉士・社会福祉士  
1978年 千葉県生まれ  
農学部卒業

学生時代はアメリカ大陸ドライブをたくさんしました。砂漠ではスピード違反、マイアミでは駐車違反で捕まりました。謙虚でありたいと思いますが、態度がデカいと言われます。

部屋でパイナップル  
を育ててます

食べ終わったパイナップル  
の葉がもったいないと思つ  
て水に浸けておいたら根  
が出てきたので鉢に定植  
しました。冬も越えだん  
だん大きくなってきています。  
名前は「パイ子」です。



## もっと楽しく、わくわくする福祉実践をつくりたい



私たちは生活を整えていく専門家です。もっと楽しく、わくわくするような福祉実践をつくりたいと考えています。生活とは、換気や食事、トイレ、お風呂、洗濯など、こまごましたことから成り立っています。しかし、その整え方は千差万別です。創意工夫が必要になります。どうすれば食事を食べてくれるのか、どういう仕事が地域に必要なのか、地域の困りごとは何かなどなど、いろんなアイデアが必要です。生活を整えると、仕事もできるようになり、社会活動もいきいきします。本人の持てる力を活用し、可能性を最大にしながら、生活や活動を整えていくことが私たちの仕事です。「すべての人」には、職員も地域の人も含みます。1対1のケアのみならず、人材を育成し、地域社会全体の可能性を高めていく視点が大切です。新しい発想とアイデアで、新しい福祉社会づくりに挑戦しませんか。

入居者に夕食の支度を手伝ってもらっているところ

## 制度のスキマをフォローする

本来、福祉の制度や法律は、地域のニーズや市民の生活に合わせて作られるものです。しかし変化の激しい時代にあっては、制度のスキマが大きくなってしまって、落ちてしまう人が多くいます。私たちは、制度のスキマをフォローするような実践を大事にします。当事者の小さな声を、大きな声に変換し、発信していく。より良い暮らしのために、制度をつくり、制度を変えていくムーブメントを起こすのは私たちです。



地域向けに開催している「みんなの食堂」の様子

## すべての人の可能性を広げる

福祉楽団にはいま 526名の仲間がいます。このくらいの組織になるといろんな仕事があります。組織で働くことのメリットは自分の強み生かし、苦手なところはチームでカバーしながら仕事ができることです。介護や相談援助はイメージしやすいですが、人事や広報、寄附募集、新しい事業の企画開発や職員住宅の建設まで、すべて私たちの福祉の仕事です。だれかの役に立ちたいとは思っているけど、福祉という仕事には縁がなかった人も多いはず。すべての人の可能性を広げられるように、支援や研修を充実させています。一緒に社会を変えるアクションをしていきましょう。

クリエイティブな福祉を五感で体験

# “見楽ツアー” 開催中



「恋する豚研究所」定番のしゃぶしゃぶも食べられます

「ごちゃまぜのケア」を見たり、「恋する豚」のしゃぶしゃぶを味わったり。  
福祉楽団を五感で体験できるツアーを開催しています。福祉楽団らしくちょっとわくわくできる仕掛けで、  
若手からベテランの“仕事のやりがい”や“大変さ”もリアルにお伝えします。



## ツアーを楽しむ

福祉楽団らしくちょっとわくわくできる仕掛けがたくさん。交通費の補助もあるので、ちょっとした旅行気分で学べます。



## いつものスタイルで

あなたしさを尊重します。見楽ツアーや採用選考にもいつも通りの服装や髪型・髪色でリラックスしてご参加ください。



## ロバにも会えます

せっかく就活するなら、楽しみながら参加しましょう！職員の「ロバオさん」(p.17)と触れ合うこともできます。

“見楽ツアー”のお申し込みはリクルートサイトで



[recruit.gakudan.org](http://recruit.gakudan.org)

今しかない大切な時間に寄り添い、本音で向き合う採用フロー。私たちは“マッチング”を大切にします。そのため、情報公開や丁寧な対話をとおし、相互理解を深めます。みなさんとお会いできることを楽しみにしています！

Instagramで  
見楽ツアーを紹介中！

[@fukushigakudan](https://www.instagram.com/@fukushigakudan)



# TRAINING

## 人材育成の考え方

福祉楽団の人材育成の方針は、会社のなかだけで活躍できる人ではなく、広く社会で活躍できる人を育成することです。そのために、仕事の実践に必要な具体的なスキル（知識や技術）の研修のほかに、コンピテンシー（行動や思考の特性）を鍛える研修を充実させています。たとえば、一般の企業と連携した研修プログラムや、さまざまなミッションに沿って調査、探索してくる海外研修などユニークなプログラムをたくさん用意しています。こうした研修を通して、職員ひとりひとりの強みを最大限に引き出し、活躍の可能性を広げていきます。



### POTENTIAL [ポテンシャル]

#### もともと持っている力

その人のもともと持っている力、元来の能力のことです。自分で自覚しているものもあれば、まだ気づいていないものもあります。自分の能力と向き合うことで、自分の可能性を最大限に生かす機会にもつながります。

### COMPETENCY [コンピテンシー]

#### 自分で考えて行動する力

考え方や行動の特性のことをコンピテンシーといいます。どんな会社に行っても求められる力です。たとえばチームワーク、意見を言う、分析する、元気に挨拶できるなどです。若いときにいろいろな経験をしておくことで能力が広がります。福祉楽団では、新しいコンピテンシーを獲得できる研修を充実させています。

### SKILL [スキル]

#### 仕事にすぐに必要な知識や技術

「エクセル」や「ワード」のスキルは、オフィスの仕事をするうえで必要です。同じように、認知症の知識や感染症対策の手技などは、ケアの実践では不可欠なスキルです。こうしたスキルは専門の教育機関と連携するとともに、チーフターによる技術指導やOFF-JTなどで身に付けています。

## 福祉楽団が実践するケアを、基礎から総合的に学べます

### 新入職員研修

介護福祉士の勉強は大学時代にしましたが、福祉楽団が実践する「科学的な根拠に基づいたケア」を学んだり、LGBTQ+などの当事者の話を直接聞いたりして、新しい発見や意識の変化になりました。“生命力の消耗を



期間は4月から約半年で、終わると介護職員初任者研修修了の資格が取得できる

最小にすること”など、学んだことを現場で実践しようとしても、正直、判断に迷うことがあります……。福祉を学んでいない人でも、基礎から学べるよい研修だったと思います。週に1回、同期と顔を合わせられたことも今につながっていますね。



林 成信 [22] HAYASHI Masanobu

社の家やしお ケアサービスワーカー

介護福祉士・社会福祉士

2002年 埼玉県生まれ／人間学部卒業

「さまざまな福祉を経験したい」と就活していたところ、分野にとらわれず多事業展開している福祉楽団と出会いました。ハロプロと地下アイドルが好きで、ライブに行き過ぎてしまうことも（笑）

### “できないこと”ではなく“できること”に気づけるように

### 1年目研修

新入職員研修が終わって半年が経ち、仕事にも慣れて少しモチベーションが下がりはじめた頃に1年目研修がありました。同期に久しぶりに会えて嬉しかったことを覚えていました。研修では1年間を振り返り、印象に残ったことやお互い



同期でひさびさに顔を合わせると、話題が尽きず、自然と笑顔になれる

が成長した部分を共有し合いました。意外だったのは、「自分は成長していない」と思っていたけど、周りから見たらそうではなかったこと。この研修で、“できないこと”に目を向けがちだった自分が、“できること”にも目を向けられるようになったことが何よりの収穫です。



間野 安里彩 [24] MANO Arisa

社の家なりた ユニットサブリーダー

社会福祉士・介護職員初任者研修修了

2001年 千葉県生まれ／総合福祉学部卒業

「科学的な介護」に興味を持ち入職を決めました。学生時代にはバレーボールを10年間やっていました。今はプレーはしていませんが、友だちや先輩の試合によく応援に行きます！

# ゼロから鍛える

人材育成に力を入れています。福祉楽団で活躍できるだけでなく、広く社会で活躍できる人材を育成します。未経験でも、福祉分野を知らなくてもOK。

## 入職から3年目までの主な研修

### 新入職員研修

#### 社会人や専門職として、基本的な知識を身に付ける

「福祉」や「ケア」に対する福祉楽団の考え方を、座学を中心に実践を交えながら約6か月で学ぶ研修です。研修を終えると「介護職員初任者研修」の修了資格が取得できるので、福祉を学んでいなくても安心です。

### 1年目研修

#### 自分の強みや持ち味を確認し、新たな気づきを得る

配属先で働きはじめて半年くらいが経つと、自分ができることと、できないことが見えてきます。同期と一緒にそれぞれの成長や今の自分の想いを共有し、未来の自分に向けて道筋を描く研修です。

### 2年目研修

#### ユニークなプログラムで、チームワークを体感する

同期のつながりや福祉楽団の理念を再確認する研修です。研修場所は「海外」や「アウトドア」など、常識にとらわれず、いつもと違う環境でちょっとワクワクできるものを企画しているのが特徴です。

### 3年目研修

#### 次のステージに向けて、新たな一歩を踏み出す

入職3年目になると、後輩ができたり役職についたり、キャリアに少しづつ変化が現れてきます。入職からこれまでを振り返り、他法人を知るなど、次のステージに進むための気づきを得る研修です。

BBQで夜通し語り合ったことは、  
なによりの宝です

入職2年目になると、リーダーになっていたりキャリアチェンジをした同期がいました。通常業務に慣れ視野が広がった時期もあり、タイミングは良かったです。開催場所は非日常感のあるグラビング施設。1泊2日で理

念を再確認したり、入職から現在までのモチベーションの変化を数値化しました。自身を振り返れたことで課題が見える化され、対策を考えられたことはプラスでしたね。夜はBBQで、悩みを打ち明けたりケアと一緒に考えたり。同期との熱い夜は最高でした。



谷川 真行 [24] TANIGAWA Masayuki

杜の家やしむ ユニットリーダー

介護職員初任者研修修了

2000年 東京都生まれ／外国語学部卒業

### 2年目研修



1年間でさらに成長した同期に会い、良い  
刺激を受けた

自分たちができている強みも  
感じる機会になりました

### 3年目研修

研修の目的は「ほかの法人の施設を見学し、ケアについての新たな視点や気づきを得て日々の実践につなげること」。今回訪れたのは、神奈川県にある「愛川舜寿会」と「相模福祉村」でした。すぐでも取り入れたい学びがありましたし、自分たちがすでにできている強みも感じることができました。同期は1~2年目研修の時に比べて、「こうしていきたい!」「これを取り入れたい!」など、プラスの発言が増えたことが印象的でした。



同期だからこそ理解し合えることがあり、  
意見に幅と深みが増す

藤井 智史 [28] FUJII Chifumi

杜の家くりもと 訪問介護チーム ケアサービスワーカー

介護職員実務者研修修了

1996年 広島県生まれ／人間福祉学部卒業



入職4年目となりましたが、約2年半は「杜の家くりもと」で勤務していました。異動したことで拠点ごとの強みが見えてきたり自分が持っている力を活かせたりしています。

田舎に住みたかったのと、農業とも連携した福祉を実践している福祉楽団に興味を持ち、2021年に入職しました。ユニットリーダーの経験を経て、今は訪問介護で働いています。

# SUPPORT



## 年2回のリフレッシュ休暇

余暇の充実は将来の仕事の能率を高めます。入職2年目から12日間以上の休暇を1回、3年目からは別途5日間以上の休暇を1回取得できます。遊びに勉強にと有効活用してください。



## ライフステージに合わせて 働き方を選べる

1日4時間や週3回勤務など、そのときのやりたいことやライフステージに応じて働き方を選ぶことができます。また、働き方を問わず全職員が無期雇用となります。ダブルワーク（副業）もOKです。



## LGBT + Qフレンドリー

性的マイノリティーへの理解を促進する研修を実施しています。就業規則や各種休暇などの規定では配偶者と同様に、異性、同性パートナーも対象にしています。



## 資格取得 100万円を支援

働きながら資格の取得をめざす職員に職員能力開発支援金として100万円まで貸与します。資格取得後3年間勤務すると返済が免除されます。また、取得した資格に応じてお祝い金が贈られます。



## 最大 200万円奨学金返還支援

職員が安心して働き、より集中して仕事に臨めるように、奨学金を代理返還します。5年間勤いた職員には最大100万円、10年間勤けばさらに100万円で、最大200万円の返済です。



## 職員住宅

若手職員向けに月額18,000円で入居できる職員住宅を6棟整備しています。また、一般的の賃貸住宅に一人暮らしをする30歳未満の職員には、上限3万円まで住宅手当がでます。



## リフレッシュルーム

「杜の家やしお」「杜の家なりた」「実穂パークサイド」にはリフレッシュルームを整備しています。休憩時間や仕事の後にゆっくりと体を休めることができます。



## 食事補助

勤務時には職員食を注文することができます。1食あたり250円で栄養バランスのとれた食事が食べられるので、毎日多くの職員が利用しています。



## ガクダンマイレージ制度

OFF-JTへの参加や、お手本となるような良い仕事をした職員には「ガクダンマイル」を付与します。マイルを貯めることで、欲しいものや旅行券と交換したり、特別休暇をもらえたりします。



## 有給休暇は入職日から

入職日に3日間の有給休暇が付与され、半年後に10日間付与されます。その後は1年おきに付与日数が増えていきます。半日単位での取得もできるため、ちょっとした用事にも使えます。



## 社会保険

あたりまえの大事な制度です。健康保険、厚生年金、雇用保険、労働者災害補償保険にしっかり加入します。また、労災の上乗せとして、独自で業務災害補償保険にも加入しています。



## 予防接種や抗体検査の助成

インフルエンザの予防接種費用を一部助成します。介護職員などのB型肝炎ワクチン接種費用は法人が全額負担します。また、希望者はB型・C型肝炎やHIVの抗体検査を無料で受検できます。

# 全力で支える

いろんな人のいろんな働き方を全力で支えます。  
人事制度や福利厚生で、ライフステージの幅を広げます。

## チューター・メンター制度

### 相談することが得意じゃない私には安心できました

私自身、あまり人に相談することが得意ではないので、チューターとメンターが最初から決まっていたことで安心できました。チューターは同じユニットの上司で、年齢が近いこともあり、業務の内容や技術の悩みを相談しやすいと感じています。メンターは施設長で、私が初めての看取りとの向き合い方に悩んでいたときに話を聞いてもらいました。心がラクになったのを覚えています。面談の頻度が多く、いつも気にかけてくれているんだなと安心感につながっています。

※「チューター」職員が仕事の基本的な知識や技術を修得できるように支援する人のこと

※「メンター」職員が長期的な視点で主体的に成長できるように支援する人のこと



#### 押田 茉桜 [23] OSHIDA Mao

社の家づくりも ユニットサブリーダー  
保育士・介護職員初任者研修修了  
2001年 神奈川県生まれ／人間科学部卒業

大学は臨床心理学科で、卒業時に何の資格もない不安から独学で保育士を取得しました。入職するまで介護に触れたことはなかったです。ひとり旅が好きで最近は福岡と大阪に行きました！

チューターの西澤凌さんは1つ上の先輩。いつも親身になってくれます

## リフレッシュ休暇制度

### 心身ともにリフレッシュすることで仕事のパフォーマンスが上がります

入職2年目の6月にユニットリーダーを任され、その3か月後にリフレッシュ休暇で13連休を取りました。前半はわくわくすることがしたくて、山形県のトマト農家に1週間住み込みで、農業のお手伝いをしました。後半は純粋に旅行を楽しむために、友だちとバリ島に行くことに。仕事をここまで考えずに、寺院巡りやシュノーケリングを満喫できたことが良い思い出です。リーダーの役割に悩むことが多くなってきたタイミングで取れたことで、リスタートする良い機会になりました。



#### 吉田 韶 [25] YOSHIDA Hibiki

実務パークサイド ケアサービスワーカー  
介護職員実務者研修修了  
2000年 東京都生まれ／文学部卒業

スウェーデンの老人ホームに行ったことをきっかけに介護に興味を持ちました。趣味はクラシックバレエと阿波踊り。おいしい食べ物とお酒を求め、都内によく飲みに行きます！

バリ島で到着早々フルーツを食べながら海辺を散歩しました！

## 職員能力開発支援金制度・資格取得報奨金制度

### 資格を取って仕事の幅とモチベーションがアップ！

入職して2年目で「社会福祉士」の取得のために「職員能力開発支援金制度」を活用しました。その後、3年以上働いて費用を免除してもらいましたが、家庭の事情で一度退職。2023年にカムバックし「香取CCC」で働き、生活に困りごとを抱えている人と接するなかで「精神保健福祉士」の必要性を感じ、再びこの制度を使わせてもらうことに決めました。合格して「資格取得報奨金」がもらえたので、ちょっと贅沢なNBのスニーカーを買いました。



#### 保立 真人 [43] HOTATE Masato

香取CCC 相談員  
社会福祉士・介護福祉士  
1981年 千葉県生まれ／体育学部卒業

学生の時は人より少し速く走ったことがストレンジです。仕事で社会を知り、福祉で人間を学んでいるところ。大人は大変だけど、好きな物に囲まれている今の生活は最高です。

「香取CCC」は相談の対象者を限定していないので幅広い福祉の知識が必要です



# RELATION

## サイボウズ



「実現パークサイド」にある「キントーンバスケットコート」は、昼夜を問わず、たくさんの地域の人に利用されている

## ソフトを20年以上前からご利用いただいています

福祉楽団様には弊社のソフトウェアサービスをご利用いただいています。ITを上手にとりいれ福祉業界をリードしてくださっています。既存の枠組みにとらわれず、より良いあり方を探求し、楽しさや創造性を大事にしながら様々な事業展開していることを尊敬しています。児童養護施設を中心とした複合的なケア拠点「実現パークサイド」建設にあたり寄附で参画できること、ネーミングライツで継続的に関わることもとても嬉しいです。

渡辺 清美 WATANABE Kiyomi

サイボウズ株式会社 ソーシャルデザインラボ

非営利団体との協働、虐待防止、当事者研究等に取り組んでいる。一般社団法人子どもの声からはじめよう理事、NPO法人全国子どもアドボカシー協議会理事、一般社団法人ぐるーん理事。



## ZOZO



社会貢献活動に力を入れている。写真は千葉市にある児童養護施設での夏祭りの様子

## 子どもたちの未来を一緒に応援しています

私たちは企業理念「世界中をカッコよく、世界中に笑顔を。」を実現するため、「FUTURE FOR YOU 次世代のための未来づくり」をテーマに様々な次世代支援活動を行っています。未来を創る子どもたちに笑顔でいてほしいという願いを込めて、OUR KIDS基金を通じ、子どもたちの未来を応援させていただいています。「実現パークサイドハウス」に住む子どもたちが自身の道を切り拓き、明るい未来を歩んでいくことを願っています。

橋本 愛香 HASHIMOTO Aika

株式会社ZOZO フレンドシップマネジメント部 CSRブロック

大学を卒業後、アパレル会社に就職。2012年にZOZOに転職。現在は社会的養護下にあるお子様や障害のあるお子様の支援を中心に担当するほか、ダイバーシティ推進も担当。



## マックスバリュ



恋する豚研究所  

2024年9月に農林水産大臣並びに環境大臣、経済産業大臣による食品リサイクル法に基づく「再生利用事業計画」の認定を取得した

## 地域完結の循環型モデルを一緒に取り組んでいます

「エシカルフィードプロジェクト(食品リサイクルループ)」は、店舗で排出された野菜くずなどの食品残渣を飼料化し、その飼料で育った豚肉を店頭で販売する、地域完結の循環型モデルです。マックスバリュ関東では17店舗で「恋する豚研究所」のお肉を販売しており、豚にストレスを与えず、独自の発酵飼料で美味しい豚肉を生産していることに感銘を受け、共にプロジェクトに取り組んでいます。地域循環型モデルとして、お客様にご好評いただいております。

岸田 有紀 KISHIDA Yuki

マックスバリュ関東株式会社 経営管理部 総務グループ

イオングループ、USMH傘下のスーパーマーケットで移動スーパー や無人店舗、環境社会貢献の取組も展開。地域とともに成長し、変革し続ける企業集団を目指しています。



# 一緒に創造する

わくわくするような福祉を実践するためには、さまざまな企業や大学、プロフェッショナルとの連携が必要です。

## 信濃屋 六本木ヒルズ店



『お客様の食卓に楽しさを演出すること』を心がけている信濃屋。  
「恋する豚研究所」の精肉や加工品は2023年7月から常設している

## 信濃屋(六本木ヒルズ店)で「恋する豚」が人気です

「恋する豚研究所」の豚肉は、毎日いろいろなお肉を扱う職人達も、品質には一目置いています。味だけでなく農場での育て方がはっきりわかるから、お子様にも安心とご好評いただいている。私達は日本の伝統的な食文化である発酵食品、発酵調味料には思い入れが強く、六本木ヒルズ店には「木桶醤油」つくりに使われる希少な木桶を設置し、その想いを伝えています。豚のエサには、一部弊社から出る食品を加工して発酵飼料にしていることもあります。豚のエサには、一部弊社から出る食品を加工して発酵飼料にしていることもあります。豚のエサには、一部弊社から出る食品を加工して発酵飼料にしていることもあります。豚のエサには、一部弊社から出る食品を加工して発酵飼料にしていることもあります。

平瀬 重信 HIRASE Shigenobu 株式会社信濃屋食品 生鮮統括リーダー

私たち信濃屋食品は今年創業95周年。安全で安心して食べ続けられることを考え素材本来の味わいを大切にし、余計な添加物を使っていない商品を揃えています。



## 東京農業大学農学部



食品廃棄物の食パンを用いて発酵飼料を調製し、豚を生産している。この発酵飼料の効果を産学連携で研究している

## 発酵飼料の効果を産学連携で研究しています

「恋する豚」の美味しさをエサの視点で科学的に評価しています。出会いは2017年頃に理事長の飯田さんが農大に来られて、当時エサの研究をしていたのが私だけだったので、そこからです。最近の研究で、独自の発酵飼料がストレスを抑制して、幸福度を高めている（幸せホルモンが多くなっている）ことが確認できました。福祉の状況は目まぐるしく変わっていて、ニーズは高いのに人手不足。それは畜産も農業も同じです。福祉楽団には、持続可能な発展を期待しています。

黒澤 亮 KUROSAWA Ryo

東京農業大学農学部動物科学科 助教

東京農業大学大学院 畜産学博士課程修了後、1年間の飼料メーカー勤務を経て現職。専門分野は動物の飼料、動物の栄養代謝。



## DESIGN デザインを大切にしています



デザインは、私たちの福祉実践を社会に発信し、表現していく大切な手段です。訪問介護などで職員が着るユニフォームは、「ユナイテッドアローズ」さんとコラボし、カッコよくしています。「恋する豚研究所」のロゴやパッケージは、トップクリエイターと協働して制作されています。福祉施設の建築も、建築家やデザイナーと連携しながら、理念をカタチにする空間を目指しています。私たちは、「デザイン」や「アート」の力を信じ、大切にしています。

# ABOUT

## ミッション | すべての人の可能性を広げる

ケアとは、単純に食事やお風呂の世話をすることにとどまらず、常にそれらを「持てる力を最大に活かす」ように思考を続けることです。この思考の基礎には人体の構造や生理学の知識が必要となります。こうした「考える」ことは、日々の暮らしを良くする実践へつながります。昨日よりも今日、今日よりも明日の暮らしを少しでも良くするための実践です。こうした思考過程と日々のケア実践を、発信し、共有し、科学的な分析などを通して「福祉を変える」アクションへつなげていきます。現場から福祉を変える。私たちは、福祉を変えていく実践を大切にします。

## 数字で見る福祉楽団

※1 | 2025年3月31日時点 ※2 | 2024年度

法人設立

売上高

職員数

25

年目

29.2

※1  
億円

526

※1  
名

法人設立は2001年12月です。私たちはこれからも、分野や制度にとらわれず、新たな挑戦を続けていきます。

全国にある約2万の社会福祉法人のうち、売上高が10億円を超える法人は約13%です。

多様であることが前提の組織づくりをしていく、誰もがフラットに意見を言い合える環境を目指しています。

20代の介護職員割合

柔軟な働き方

研修費総額

44.3

※1  
%

9

※2  
つの区分

2,821

※2  
万円

介護職員の全国の平均年齢は48.4歳ですが、福祉楽団は34.7歳です。若い世代が活躍しています。

ライフステージの変化やその時のやりたいことに応じて働き方の区分を選べます。ワークもOKです。

人材育成に力を入れています。業務に必要なスキルの研修やコンピテンシーの研修も充実しています。

リフレッシュ休暇の取得日数

育児休業の取得率

サービス利用者数

最長 30

※2  
連休

男性 75.0 % 女性 100.0 %

184,676

※2  
名/年

入職2年目から毎年12連休以上、3年目からはさらに5連休以上ができる制度で、取得率は97.8%です。

全国平均の取得率は、男性30.1%、女性84.1%です。職場復帰後もスムーズに働けるように支援しています。

高齢者、障害のある人、子どもなどすべてのサービスにおける、日次単位の延べ利用者数です。

# 25年目の福祉楽団

未開拓な領域に挑戦しつづけます。  
新しい実践と、新しい福祉を創造するために、あなたの力が必要です。

## メディア掲載（主なもの）

新聞

- 産経新聞 | 2024年5月1日「デザインの力で福祉を変える 施設建築5プロジェクトに助成」
- 朝日新聞 | 2024年5月7日「居場所ない子に、くつろげる「家」を 社福法人、習志野に計画 費用募る」
- みんなの経済新聞 | 2024年8月29日「餅まきに300人超 地域住民との交流深まる」

テレビ

- 千葉テレ | 2024年4月23日「児童養護施設 クラウドファンディング開始」
- NHK | 2024年4月23日「児童養護施設開設へクラウドファンディング 千葉の社福法人」
- 日本テレビ | 2024年12月22日『ザ!鉄腕! DASH!!』

雑誌・広報誌

- 日経研 | 2024年5月20日『介護人財5・6月号』「ロボット・ICTを活用した介護サービス&職場づくり」
- 建築ジャーナル | 2024年7月1日『建築ジャーナル 2024年7月号』  
「希望のプロジェクト／恋する豚研究所 資本と自然の間で」
- マガジンハウス | 2024年10月9日『POPEYE(ポパイ) 2024 NOVEMBER ISSUE 931』  
「介護の現場を知りたくて。ショートステイ&訪問介護編-」

その他のメディア  
掲載はこちらから  
ご覧いただけます



## 採用実績

【大学院】関西学院大学、昭和音楽大学、千葉大学、東京外国語大学、法政大学   
【大学】青森県立保健大学、亜細亜大学、岩手県立大学、宇都宮大学、浦和大学、江戸川大学、愛媛大学、桜美林大学、大阪市立大学、大阪府立大学、沖縄大学、開智国際大学、神奈川県立保健福祉大学、金沢学院大学、関西大学、関西福祉科学大学、関西学院大学、関東学院大学、京都女子大学、京都文教大学、杏林大学、敬愛大学、県立広島大学、高知大学、高知県立大学、国際教養大学、国際基督教大学、国際武道大学、国士館大学、駒澤大学、埼玉県立大学、山陽学園大学、静岡県立大学、淑徳大学、順天堂大学、城西国際大学、上智大学、駿河台大学、聖学院大学、西南女学院大学、西武文理大学、専修大学、仙台大学、創価大学、大正大学、大東文化大学、高崎健康福祉大学、高千穂大学、拓殖大学、千葉大学、千葉経済大学、千葉県立農業大学校、千葉県立保健医療大学、千葉工業大学、千葉商科大学、中央学院大学、筑波大学、帝京大学、帝京平成大学、田園調布学園大学、桐蔭横浜大学、東海大学、東京外国語大学、東京学芸大学、東京家政学院大学、東京経済大学、東京工科大学、東京女子大学、東京聖栄大学、東京成徳大学、東京農業大学、東京福祉大学、同志社大学、東邦大学、東邦音楽大学、東北学院大学、東北芸術工科大学、東北福祉大学、東洋大学、獨協大学、名寄市立大学、南山大学、新潟県立大学、日本大学、日本社会事業大学、日本女子大学、日本体育大学、日本福祉大学、ノートルダム清心女子大学、佛教大学、文教大学、文京学院大学、法政大学、北海道教育大学、武蔵野大学、武蔵野音楽大学、武蔵野美術大学、明治大学、明治学院大学、明星大学、山口大学、山口県立大学、山梨大学、山梨県立大学、酪農学園大学、立教大学、立正大学、立命館アジア太平洋大学、龍谷大学、ルーテル学院大学、麗澤大学、早稲田大学、和洋女子大学   
【短大・高専・専門学校】植草学園短期大学、江戸川学園おおたかの森専門学校、神奈川県立かながわ農業アカデミー、北原学院歯科衛生専門学校、京都栄養医療専門学校、越谷保育専門学校、埼玉福祉保育医療専門学校、彰栄保育福祉専門学校、専門学校新国際福祉カレッジ、聖徳大学短期大学部、千葉情報経理専門学校、中央介護福祉専門学校、東京工学院専門学校、東京商科・法科学院専門学校、東京福祉専門学校、東京YMCA医療福祉専門学校、成田国際福祉専門学校、新潟青陵大学短期大学部、日本福祉教育専門学校、服部栄養専門学校、華学園栄養専門学校、武蔵野栄養専門学校、吉川福祉専門学校、早稲田速記医療福祉専門学校

### 厚生労働省による『介護とは何か—生活を支えていく実践—』の映像制作に協力

2020年のコロナ禍の秋に、厚生労働省による「介護のしごと魅力発信事業」の映像制作の取材として、「社の家やしお」にテレビカメラが密着しました。完成した映像は教材で使用されたり、ローカルテレビ局で放送されました。「大変そう」という言葉だけで語れことが多い介護の仕事ですが、現場からのリアルを発信し、面白さや楽しさを多くの人に伝えるための貴重な映像資料となっています。



映像の全編は  
こちらから  
観られます



法人概要 法人名 | 社会福祉法人 福祉楽団

所在地 | 〒261-7112 千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1

発行日 | 2025年6月25日

理事長 | 飯田 大輔

TEL | 043-307-2828

WAM NET  
電子開示システム



